

	日本を代表する俳優・北大路欣也が語る！ オンライントーク「ねりま映画サロン」第6弾配信開始！
公開日	5月30日（金）
公開URL	https://nerima-eizobunka.com/
30日（金）、区は、練馬区が誇る映像文化の魅力を区内外に発信する特設ホームページ「映像∞文化のまち ねりま」の企画として、日本を代表する俳優が映画を語る「ねりま映画サロン」第6弾の配信を開始した。 動画には、俳優の北大路欣也さんに出演いただき、父・市川右太衛門さんとの思い出や東映での高倉健さんとの出会い、名作『八甲田山』での撮影秘話などについて話を伺った。また、第4弾ゲストの伊東四朗さんにもご出演いただき、共演作『三屋清左衛門残日録』での撮影話や時代劇についても語っていただいた。 本件は、区が令和3年11月に策定した「映像∞文化のまち構想」に基づく取組であり、映画、アニメ、漫画など区の映像文化資源を活かしたイベント等を引き続き実施していく。	



伊東四朗氏（左）、北大路欣也氏（中）、
長峰由紀氏（右）の収録の様子

【特設ホームページ『映像∞文化のまち ねりま』】

日本を代表する俳優による対談動画「ねりま映画サロン」、練馬と映像文化の関わりを紹介する連続インタビュー企画「ねりま映像人インタビュー」など、映像制作の第一線で活躍する方々に関するコンテンツを公開しているほか、「映像∞文化のまち構想」の関連イベント情報など幅広い情報を発信している。

【『映像∞文化のまち構想』】

区には、昭和7年（1932年）に向山（豊島園）に不二映画撮影所が設立されて以降、実写・アニメを問わず映像を作る環境が整っており、数多くの優れた映像作品がこの練馬の地からつくり出されてきた。区は、こうした状況を背景に、令和3年11月に「映像∞文化のまち構想」を策定し、映画やアニメなどの映像文化を活かした、ソフト・ハードが一体となった夢のあるまちづくりを進めている。

【区HP】 <https://www.city.nerima.tokyo.jp/kusei/sougoukeikaku/kikakukakentoucyu/20211202.html>

【参考】出演者プロフィール

北大路 欣也（きたおおじ きんや）氏

昭和18年生まれ、京都府出身。昭和31年に「父子鷹」で映画デビュー。「葵の暴れん坊」など時代劇黄金時代の東映作品に出演。その後、「仁義なき戦い 広島死闘篇」「八甲田山」など数多くの名作に出演、映画俳優として不動の地位を築く。また、テレビでも時代劇、現代劇問わず幅広く活躍し、舞台俳優としても多くの傑作に出演。平成27年旭日小綬章受章、令和5年文化功労者。

伊東 四朗（いとう しろう）氏

昭和12年生まれ、東京都出身。昭和33年石井均一座でデビュー。昭和37年にてんぷくトリオを結成。昭和40年にテレビ「九ちゃん！」のレギュラーに抜擢され、お茶の間の人気者に。「おしん」をはじめテレビドラマ史に残る作品やバラエティー番組に出演。映画、舞台、ラジオ、CMと幅広く活躍。

長峰 由紀（ながみね ゆき）氏

昭和38年生まれ、埼玉県出身。昭和62年アナウンサーとしてTBSに入社。「Nスタ」などニュース番組を中心に出演。令和5年3月TBSを退職し、フリーアナウンサーとして幅広く活躍。

【問合せ】練馬区 文化・生涯学習課 文化芸術担当係 電話：03-5984-1358